

2022年 新年明けまして おめでとうございます



結い だより

第64号
発行
社会福祉法人 結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1 203
TEL 086-206-7385
FAX 086-206-2801
発行責任者
前田 勝子

社会福祉法人 結い

理事長 前田 勝子



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は社会福祉法人結いの活動に對しまして、皆様からの温かいご支援とご協力を賜りありがとうございました。本年も「結い」の仲間とともに無事、新春を迎えることができましたことを心よりお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が地球規模で拡大するコロナ禍、3回目の新しい年を迎えることになりました。

日本では、新型コロナウイルス感染症の拡大は、国民生活に大きな影響を及ぼしました。福祉施設でクラスターが発生し人手不足で運営が成り立たない「感染しても障害があるため、入院先が見つからない」家庭内で感染者が出た場合、「障害のある子供の世話をどうしたらいいのか」6割の作業所で工賃が

下がった」など、悲痛な声が寄せられています。精神科病院では新型コロナウイルスに感染した235人(2020年3月～2021年8月)もの患者さんが、重症化しても対応できる医療機関に転院できないまま亡くなりました。新型コロナウイルス感染症の拡大は、日本の医療体制や障害者福祉の脆弱さを浮き彫りにしました。平時から緊急時にも対応できる諸制度の拡充を構築していくことが必要です。

新型コロナウイルスの猛威は、依然、予断を許さない状況が続いています。本年も昨年に引き続き、感染予防対策に迫られる厳しい年になりそうです。

2022年は寅年です。寅年は、辛く厳しい冬が終わり暖かい春が来る年と言われています。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れることでしょう。

暖かい春を待ちわびながら健康に留意しコロナ禍を共に乗り越えて参りましょう。

新型コロナウイルス感染症が終息し平穏な日々が戻りますように、そして皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



優生保護法 明石市
強制不妊被害者支援条例案
可決!!!

岡山県議会 精神障害者への
医療費助成制度
採択!!!

ワークハウス・わくわく!

利用者 抱負 2022年

4つ折りがんばりたいです。
作業中の動作スピードを意識してがんばりたいです。

一年間一生懸命がんばりたい。

さくら苑の仕分けの仕事をやりたいです。



結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の力だけでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき、私達の活動を支援してくださいませよう。よろしくお願いいたします。

また、2020年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように何卒よろしくお願いいたします。

<振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757
社会福祉法人「結い」後援会
(個人：年1口 千円 団体：年1口 3千円)

1948年～96年まで、優勢上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに「...」と言われ、障害者に不妊手術を強いてきた旧優生保護法の被害者に対し兵庫県明石市議会は21日、国の制度では対象外の配偶者と中絶被害者も含め支援金300万円を支給する全国初の被害者支援条例案を賛成多数で可決した。「(山陽新聞12月22日より)とのこと。」



精神障害者医療費助成制度とは、市区町村を単位に地方が独自に行っている医療費助成制度のひとつです。自治体によって助成内容にばらつきがあり、一般医療費を全額助成してくれる市町村もあります。岡山市では、精神保健福祉手帳1級かつ「自立支援医療受給者証(精神通院)」の両方を所持する方は、原則1割負担で医療を受けることができます。岡山県内では、他に美咲町・備前市のみが実施しています。全国未実施府県は9府県しかなく、中国地方では岡山県だけとなっていました。

そのため、岡山県精神障害者家族会連合会が中心となり、県精連(岡山県精神障がい者団体連合会)も協力し岡山県へ要望をあげ続け、12月22日県議会にて採択されました。助成内容はこれから検討されていきますが、ぜひ他都道府県に負けない岡山県に住んでいて良かった。と思える助成制度になることを願っています。



ワークハウス・わくわく！
統括管理責任者
ハウスげやき 所長
高橋 陽子

新年あけましておめでとーございませう。

昨年は、コロナ禍の中緊急事態宣言を受け厳しい情勢が続きました。しかし、その中でも利用者の方がたが、協力し合いながら毎日の仕事を頑張っている姿は私たちに元気を与えてくれました。

法人は、設立20年を過ぎ、設立当初からの役員も次の世代へ引継ぐ時代へと移ってきました。効率優先・右肩上がりの経営を求められる社会の中、生きづらさを抱えた人たちが増え社会福祉法人の重要性は増えています。しかし、福祉・介護職員の賃金については、未だに全産業平均の年収を100万円以上下回る水準が続いています。

福祉現場にとって職員が大事な財産です。法人としても、同一労働同一賃金のガイドラインの概要をうけ契約職員の給与規定を見直し、来年度から適用していきます。職員の賃金保障が向上していくことは望ましいことです。しかしその原資は法人の経営努力にしかなく小さな法人は合併・吸収を促されています。社会が効率・生産性を求めれば求めるほど、利用者が持つ障がいは大きくなります。

社会福祉法人として、社会の中の声なき声をひろい支えていける体制をつくり維持していくために、次の時代に向けて進んでいくことができる年としていきたいと思ひます。



ワークハウス・わくわく！
所長 早瀬 文香

新年明けましておめでとーございませう。旧年中はみなさまの温かいご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。

この2年あまりコロナ禍の中、我慢の日々が続きました。就労支援事業もその影響を受け、病院内売店は外部客が減少、喫茶店は、営業が中止。地域への出店販売は中止。宅配弁当では、会議食の注文の減少など、苦境に立たされました。また、コロナウイルス感染防止のため事業所独自にPCR検査を実施するなど、これまでになかった費用が発生。これら様々な対応に追われてきました。

「きょうされん」が行った障害福祉事業所の仕事に関する調査(2021年4月時点)では、全国半数の事業所の就労支援事業収益の減収が、そのまま利用者の工賃減少につながっているという厳しい状況が報告されています。

告されています。しかしながらそのような中でも、当事業所では、新しいメンバー受け入れの動きが始め、昨年は新たに10名のなかまが増えました。また、宅配弁当屋喜楽では、新たに販路が拡大でき収益回復につながり、5年ぶりの赤字脱却となりました。

障害福祉分野では、株式資本を含む多様な事業者が参入し、福祉の担い手の様相が変わりつつあります。私たち社会福祉法人は、地域の社会資源としてここに変わらざるあり続けること、必要としている方々が必要な時に、いつでも手を差し伸べられるようその質を担保していくことを求められているのだと思ひます。

大事なことはとてもシンプルながらもしれません。目の前の生きづらさを抱えた方々と歩みを共にし、その日々を積み重ねていくこと。

また次なる一年が始まります、皆様のお力もお借りしながら一歩一歩進んでいきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

のはとてもおいしく、そして交流の場として大いに盛り上がりました。たった1時間の会でしたが、締めは一人ずつ今年がどうだったか発表しました。コロナで大変だった。「仕事が忙しかった。」「私生活の悩みなど様々なことが明らかされ、あ、それわかっている！」と共感の声も出ていました。わくわく！と喜楽の利用者さん同士雑談をする機会はほとんどありません。新しい利用者さんも参加された新たな仲間作りの場として、今後も女子会を継続し、事業所間の交流の場として盛り上げていきたいと思ひます。



わくわく！・喜楽の両事業所で男性利用者・職員の交流会を行いました。9名の参加者がリモート越しに参加されました。わくわく！と喜楽で参加された方には喜楽特製のオードルブルがふるまわれ、皆でおいしいおいしいと舌鼓を打ちました。特にエビマヨが好評でした。コロナ禍でやむをえずリモートでの開催となり

男子会 も開きました♪

11月26日金曜日、ワークハウス・わくわく！と喜楽の利用者・職員で女子会を行いました。わくわく！からは利用者5名、職員4名、喜楽からは利用者3名、職員2名。総勢14名の大所帯でリモートを使って開きました。女子会は初めての試みでしたが、仕事後の疲れた体に甘いおやつと温かい飲みも



11月26日金曜日、ワークハウス・わくわく！と喜楽の利用者・職員で女子会を行いました。わくわく！からは利用者5名、職員4名、喜楽からは利用者3名、職員2名。総勢14名の大所帯でリモートを使って開きました。女子会は初めての試みでしたが、仕事後の疲れた体に甘いおやつと温かい飲みも

結いの会

合同女子会行いました♪



ワークハウス・わくわく！

Yショップクリスマスケーキ販売
利用者へ数年ぶりの冬賞与

今年、コロナ禍で様々なYショップイベントが中止となり、いつも以上に力の入ったクリスマスケーキの販売となりました。新たに備前市の民間会社の社内販売の取次店を務めさせていただいたり、営業の得意なメンバーが母校を訪ねケーキ予約を4個とるなどメンバーの頑張りと同様々な人たちの協力の結果、111個、302,404円の売り上げとなりました。

クリスマスケーキの配達期間は、例年の数倍の忙しさですが、営業最終日には数年ぶりに出た冬季賞与と共にみんなで喜びを分かち合いました。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

販促活動は地道な活動ですが、こうした成果が体験できたことにより、より多くのメンバーに参加してみたいなと思ってもらえるような、やりがいのあるお店作りをしていきたいと思ひます。

きょうされん
第44回 全国大会

オンラインで開催！
10000人が参加。

全国の障害がある人たちが働く事業所の集まりであるきょうされんは、10月29日はじめて全国大会をオンラインで開催しました。

メンバーは北海道から沖縄宮古島まで、参加人数は10000人を超えました。岡山からは残念ながらワークハウス・わくわく！のみの参加でしたが、リモートで全国の仲間とつながり、どの事業所からも頑張っている姿が伝わってきて、大勢の仲間の方々のエネルギーに圧倒された1日でした。

